



子供地球基金 No.70 News Letter



2018.03.11-03.18 プエルトリコ ハリケーン被害 被災地にてワークショップ

ハリケーンにより多大な被害を受けたプエルトリコの子どもたちと絵を描くワークショップを行い、寄付をしました。

2017年9月にカリブ海を襲ったハリケーン・マリアによりプエルトリコでは死者数が4600人以上のものぼりました。死者の三分の一は、停電や破壊による医療行為の中断が原因だったそうです。

少しずつ人々は生活を取り戻していますが、まだ山の方は電気が通っておらず、都内でも頻りに停電するが起きるとのことです。

プエルトリコの子どもたちが通うBoys and Girls Clubと病院にて、子どもたちと絵を描くワークショップを開催致しました。画材や子ども服等の寄付も行いました。

ハーバード大学の調査員によると、プエルトリコでの聞き取り調査からハリケーン襲来後3か月で被災者の死亡率が60%上昇したという結果もあり、膨大な被害があったにもかかわらず、支援が行き届かなかった事実が伺えます。



2018.03.12 リヤドロ ジャパン
リヤドロ ウィメンズアワード 受賞

子供地球基金 代表 鳥居晴美がリヤドロ ウィメンズアワードを受賞させて頂き、マンダリン オリエンタルにて、特別授賞式に当たりチャリティーガラパーティーが開催されました。収益金は子供地球基金に寄付されます。主催してくださったリヤドロ ジャパンの皆様とご協力くださいました皆様に心より御礼を申し上げます。



2018.03.26 東北 宮城県岩沼市
岩沼市北児童センター

2018.03.28 東北 宮城県岩沼市
岩沼市玉浦児童館

東北代表 渡辺 れい子により、岩沼北児童センター及び岩沼市玉浦児童館にて絵を描くワークショップを開催致しました。一枚一枚の絵を大切に描くことを子どもたちに伝え、画用紙と真剣に向き合う時間は、子どもたちにとって貴重な時間となっています。



2018.04.07-04.08 日本橋 江戸桜通地下歩道
“子どもたちの絵で地球を塗り替えよう展”

日本橋 三越前駅の江戸桜通り地下歩道にて、三井不動産のご協力のもと、展覧会及び絵を描くワークショップを2日間にわたり開催致しました。

巨大な桜の木の作品を始め、36点以上を展覧し、多くの方が足を止め、世界中の子どもたちの作品をご覧になっていました。会場では、風船に絵を描く、描いた絵が動き出すプロジェクションマッピング、30周年記念 自分の顔を描く、3種類の絵を描くワークショップを開催しました。



2018.04.18 名古屋
青空の下

名古屋の森林公園で絵を描くワークショップを行いました。参加した子どもたちにとって、青空の下でのお絵描きは初めて。お昼寝の時間になっても興奮冷めやらず、とても楽しそうに描いていました。



2018.04.19 子供地球基金事務局 メンバーズパーティー

子供地球基金事務局にて、メンバーズパーティーを開催致しました。子供地球基金を応援して下さる、会員の方々や日頃よりご支援下さっている皆様にお集まり頂き、アットホームな雰囲気の中、一緒に楽しいお時間を過ごさせて頂きました。

世界77カ国を旅した料理人、星野シェフのお料理をお楽しみ頂きました。子供地球基金では、新しく会員として子供地球基金をサポートして下さるメンバーを、個人・法人共に募集しています。



2018.04.20 宮城県亶理町 亶理町逢隈児童館

亶理町逢隈児童館にてワークショップを行いました。今回は、オリジナルの鯉のぼりを作りました。自分だけの鯉のぼりを手にし、嬉しそうに駆け回る子どもたち。世界にひとつしかない素敵な鯉のぼりが、こどもの日に向け亶理町を明るく彩ってくれたことでしょう。



2018.04.21 宮城県亶理町 キッズアースホーム東北にて

宮城県亶理町のキッズアースホーム東北にて、絵を描くワークショップを行いました。

震災直後はまだ幼く、お母さんに抱っこ紐で抱えられ参加していた子も今年で小学一年生。今回はオリジナルの鯉のぼり作りを行いました。様々な生地や布を使い、子どもたちの想像力の豊かさが溢れる素敵な作品が完成しました。



2018.04.29 北海道小樽市 初体験！

小樽運河公園にてアートワークショップを行いました。初めて見る絵の具に興味津々の子どもたち。幼稚園以来久しぶりに絵の具を使うと喜ぶ女の子も。途中走り回ったり、休憩を挟みましたが、もう一回描きたいと必ず戻ってきました。恵まれた天気の中で終始子どもたちは笑顔でした。

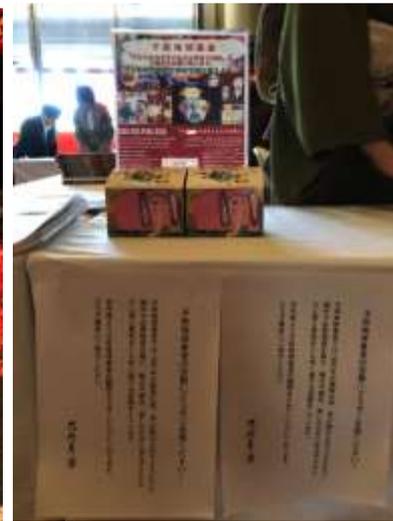


2018.04.29 花柳 寿楽様 錦会

子供地球基金顧問 花柳 寿楽様の錦会にて、子供地球基金の募金箱を設置して頂き、寄付を募って頂きました。会場にいらっしゃった皆様には子供地球基金の活動を知っていただく良い機会となりました。募金箱の11,400円は花柳寿楽様直々に事務所までお届け頂き、確かに拝受致しました。

大切に子どもたちの為に役立たせて頂きます。

花柳 寿楽様には2017年の子供地球基金 ファンドレイジングディナーでは、素晴らしい舞をご披露頂き、ボランティアで子どもたちの為に温かいお気持ちをお寄せくださいました。



2018.05.06 アメリカ ソノマ

画材の寄付と、ワークショップ

ソノマ郡での山火事被災地へ、ご寄付を下された皆様の思いとともに、再度、アメリカ カリフォルニア州ソノマ郡へ支援へ行って参りました。

Jack LONDON Elementary Schoolという山火事被害に遭った子どもたちの通う小学校に寄付をさせて頂きました。焼け野原になってしまった被災地にほとんど変化は見られませんでした。ゆっくりではありますが、再建に向けて一歩ずつ進んでいます。

また同小学校で、30周年プロジェクトの自分の顔を描くワークショップを行い、たくさんの子どもの顔が集まりました。



2018.05.06 静岡県静岡市

用宗港チャリティーrun&walk

Sarry's Café 代表 仁科 齊様主催で、静岡県静岡市にて、「用宗港チャリティーRun&Walk」が開催されました。110名以上の方が集まり、募金金額107,143円となり、子供地球基金に寄付されました。

皆様の温かいお気持ちとご協力に心より感謝を申し上げます。ご寄付は、熊本の支援を必要としている子どもたちのために大切に役立たせていただきます。



2018.05.05-05.06 麻倉ゴルフクラブ

ザ・レジェンドチャリティープロアマトーナメント 2018

“ゴルフを通じて社会貢献を”という主旨のもと行われるザ・レジェンドチャリティープロアマトーナメント2018にて、5月5日(土)、6日(日)とチャリティーグッズ販売を行いました。

今年で10年目の節目を迎えたチャリティ大会では2日間で8180人のギャラリーを動員する盛り上がりを見せましたが、実行委員長の青木 功氏は「このレジェンドで挨拶をするのは最後になる。10年間ありがとう」と表彰式で明かし、今年をもって大会の幕を閉じることを表明されました。



2018.05.11-05.12 熊本益城町

仮設住宅生活の続く子どもたち

5月11日(金)、12日(土)2016年に震災のあった熊本県 益城町の子どもたちと絵を描くワークショップを行いました。

仮設住宅での生活は予定より大幅に長期になる見込みで、今後の生活のめどが立っていない方も多くいらっしゃり、震災から2年がたった現在も、人々の心に爪痕が残っていると地元の方はお話をいただきました。今回は、仮設住宅からも多くの子どもたちが通う益城町第三保育園、益城町の児童養護施設 広安愛児園、益城町 児童館、坪内緑地の4か所で絵を描くワークショップを開催しました。



2018.05.12-05.13 ギャラリーカフェ あるる。

チャリティーコンサート

第10回目の開催となる、チャリティーコンサートでは、入場料とドリンク代などが寄付となり、2日間で54,500円のご寄付が集まりました。出演者の皆様も毎年ボランティアで演奏やパフォーマンスをご披露してくださっています。



2018.05.20 国立博物館庭園 九条館

「エネルギーの茶会」

国立博物館庭園 九条館にて。笑諒庵 眞壁 美枝子先生と眞壁 廉先生主催の『未来茶会』が開催され、参加費の一部の34,000円を子供地球基金にご寄付くださいました。

茶会の銘は「エネルギーの茶会」とし、日本の国宝や重要文化財の懐で、芸大彫刻家出身のお二人の作家をゲストに、3人の彫刻家の現代彫刻作品とともに、お天気にも恵まれ、一服のお茶を皆様楽しまれていらっしゃいました。人のエネルギーが渦巻く、素晴らしい1日となりました。





2018.05.13-05.15 ハワイ島

ハワイ島支援 火山活動 避難地域

キラウエア火山の避難所でたくさんの笑顔。
 家にいつ帰れるか、学校にいつ通えるのか分からず、不安な毎日ですが、子どもたちは現在の状況に向かい合い、笑顔で頑張っています。
 先日も爆発的噴火の起こったキラウエア火山。一刻も早く状況が落ち着くことを祈るばかりです。

ハワイ島キラウエア火山活動の被害があった地域は、比較的地価が安く、貧困層の方々も多く住んでいました。避難所Keaau Community Centerでは、避難所の場所が足りず、テントを今後も増やすとのことでした。また、トイレの数が足りず皆さん困っていらっしゃいました。シャワーはないのでバンで移動し、公共のプールのシャワーを浴びに行っています。

Pahoa Community Center でワークショップを行った際、子どもたちに子供地球基金の活動についてお話すると、「素晴らしい!」と言い、自分たちも困難な状況下にいるにも関わらず、他の子のことを思い、目を輝かせて一生懸命絵を描いてくれました。

現在、避難対象地域となっているハワイ島レイラニは、かつては天国のような住宅地でした。立ち入り禁止地域に以前住んでいたジョナサン氏の自宅周辺に伺うと、建物35件以上が溶岩に飲み込まれていて、あらゆるところがひび割れ、角を曲がれば溶岩で道が行き止まりになっていました。死に至る危険もある二酸化硫黄の立ち込める町は、まだまだ人々が戻ってこれる状態には程遠いです。一日400メートルというゆっくりの速度でジワジワと侵食し、町はゴーストタウンになっていました。

昼の雲は黒くて夜の空は赤い。1955年と1960年に噴火があったそうですが、この規模は600年ぶりの事。自然の力の大きさを改めて感じました。



2018.05.22-06.08 カルビー株式会社 本社
 ハワイ島とソノマ 被災地の絵を展覧

カルビー株式会社 ロビーにて、展覧会を開催しています。

アメリカ ハワイ島 噴火活動地域の被災地と、昨年のソノマの火災被害の被災地で描かれた絵を展覧致しました。カルビー従業員の方々や来社されるお取引先様など多くの方々にご覧いただきました。

カルビーより発売されている、Jagabee 90g BOX タイプのうす塩味とバターしょうゆ味の売り上げの一部が子供地球基金に寄付されています。



2018.05.25 -05.27 オーバル デンタル
 治療費の一部が子供地球基金へ寄付に。

この度、子供地球基金 事務局 1階に、世界一愛と優しさに溢れた心地よい歯科医院を目指す、オーバル デンタルが開院し、5月25日(金)~27日(日)まで内覧会が開催され多くの方が来院しました。

オーバルデンタルの収益の一部は子供地球基金を通して、子どもたちの未来のために役立てられます。院内では、子供地球基金の創設のきっかけとなった志村 星が描いた現在の作品が展覧されています。暗いイメージのレントゲン室も志村 星のアートにより、世界のどこにもない、カラフルなレントゲン室へと生まれ変わりました。



2018.04.20-06.02 ハイアットリージェンシー京都 1階“The Grill”

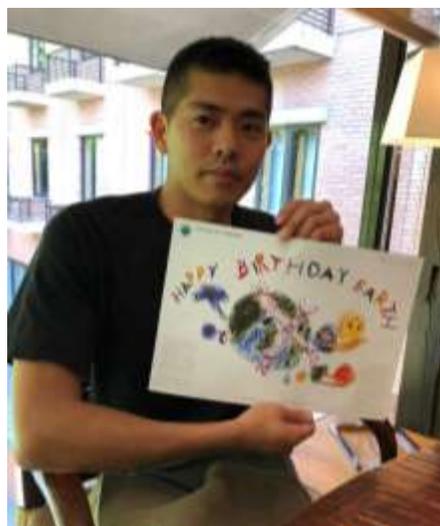
世界中の子どもたちの顔が一つになった作品「Kids Helping Kids」を展覧

ハイアットリージェンシー 京都 1階“The Grill”にて、
展覧会を開催致しました。

カンボジア、ベトナム、クロアチア、パレスチナ、シリア難民、東北、熊本等、世界中の子どもたちの顔が一つになった6mもの作品“Kids Helping Kids”が“The Grill”天井部分に飾られました。

子供地球基金の子どもたちの素晴らしいアートは、企業に様々なデザインとして使われ基金となり、その基金が他の子どもたちを救うことで世界中で心の輪が広がっています。今回の作品は、そんな「子どもたちが子どもたちを救う」活動に参加してくれた子どもたちの顔が一つになり、“Kids Helping Kids”の理念を表現しています。

展覧会期間中、ハイアットリージェンシー 京都内のレストランと、京都国立博物館内のレストランでは、子供地球基金発足のきっかけとなった作品“地球さんお誕生日おめでとう”がデザインとなったランチョンマットが使われました。



2018.06.01ハイアットリージェンシー京都 ボールルーム 子供地球基金CHARITY PARTY 2018 in KYOTO

6月1日にハイアットリージェンシー京都にて、子供地球基金CHARITY PARTY 2018 in KYOTOを開催致しました。当日は、シュクラ・ホリデイが歌を披露し、エア・カナダの航空券、ミーレ・ジャパンの掃除機、エスカーダ・ジャパンのバッグをはじめとする、豪華賞品が揃うラッフルやオークション、そしてお土産にはブルガリよりご協賛頂いた豪華なチョコレートを持ち帰って頂き、ゲストの方に楽しんで頂きました。

皆様のご協力により、本会の収益金は208万275円となりました。

子どもたちの未来を考え会場の気持ちが一つになる、温かい一夜を皆様と過ごさせて頂きました。



新規会員のご紹介（2018年3月16日～6月4日）

法人会員 医療法人社団 スマイルステーション 株式会社バリュー・ザ・ホテル

特別個人会員 岡田 康江様 花柳 寿楽様 伏見 麻七様